

〈報道関係各位〉

2016年9月16日
奈良県葛城市
株式会社ママスクエア

日本初の行政連携モデル ママが子どものそばで働くことができるオフィス 関西初出店 奈良県葛城市に「ママスクエア葛城店」がオープン

奈良県葛城市（市長 山下和弥）と株式会社ママスクエア（東京都港区 代表取締役社長 藤代聡）は、テレワークを活用し、ママが子どものそばで働くことができるオフィス「ママスクエア葛城店」を9月30日（金）に葛城市内にオープンさせることになりました。

ママスクエアと葛城市による初の行政連携モデル「ママスクエア葛城店」

葛城市の「少子化対策として、市内に住む方が子育てをしながら働くことができる場所や、子育ての悩みを共有する井戸端を提供したい」という思いに対し、ママが子どものそばで仕事ができるワーキングスタイルを可能にした株式会社ママスクエアがこれに応える形となり、地方創生に向けた取組の一環として本事業は実現しました。

「ママスクエア」とは株式会社ママスクエアが首都圏を中心に展開する、ワーキングスペースに託児機能と親子カフェを併設したスタイリッシュな新業態のワーキングカフェです。ワーキングスペースからガラス越しに見える位置に託児スペースと親子カフェを併設し、託児スペースには子どもが楽しく過ごせるよう、またママが安心して働けるように専任のキッズサポートスタッフが常駐します。



地方に住むママがワーキングスペースでテレワークを活用し、都市部の仕事を行う本事業は、地方における新たなしごとの創出に貢献するとともに、地方自治体の保育の需要増に対する新たな受け皿になり得ることから、関西で初めての出店となる「ママスクエア」に対し、葛城市が政府の地方創生に関する予算を活用し事業立ち上げに係る経費を支援。株式会社ママスクエアにおける初の行政との連携モデルとなります。

<ママスクエアについて>

「子どものそばで働ける世の中を作りたい」という思いから生まれた「ママスクエア」は、首都圏に6店舗を展開。ママが子どもと離れずに働ける、保育園でもない在宅でもない新しいワーキングモデルであり「子育ても仕事もがんばりたい」そんなママが無理なく生き活きと働ける場所です。葛城店で関西初出店となり、年度内に本格的な西日本への出店を予定しています。

<奈良県葛城市について>

葛城市は平成16年10月に旧新庄町と旧當麻町が合併して誕生した、奈良県北西部に位置する人口約37,000人の市です。中学生までの医療費無償化や、出産から子育てに関する総合相談窓口である「こども・若者サポートセンター」の設置など子育て支援の充実を積極的に進めており、合併以降人口が増え続けている数少ない市でもあります。

ママスクエアと葛城市の連携の意図

株式会社ママスクエアの取組は、女性の社会進出や待機児童問題など、人口減少社会において行政が抱える様々な課題解決の役割を担うことができます。また葛城市は人口規模や高齢化率をはじめとする人口構造が全国とほぼ同水準にあるなど平均的な「日本の縮図」としての性質を持っているため、葛城市と株式会社ママスクエアによる今回の取組は、全国に普及・展開できるモデルの確立に向けた挑戦の意義をもちます。

葛城市は本事業を通じて情報通信技術（ICT）の利活用による地方創生をより一層進め、株式会社ママスクエアは今後も他の地方自治体との連携拡大を進めながら、託児機能付きワーキングスペース「ママスクエア」の運営・展開を通じて女性の活躍の場を増やして参ります。

「ママスクエア葛城店」のオープンにあたり、オープニングセレモニー及び内覧会を開催いたします。詳細は下記をご覧ください。

ママスクエア葛城店オープニングセレモニーのご案内

9月30日(金)、ママスクエア葛城店のオープニングセレモニーを開催いたします。
オフィススペースとカフェ&キッズスペースもご覧いただけます。

会期:2016年9月30日(金) 11:00~

会場:ママスクエア葛城店 〒639-2113 奈良県葛城市北花内 426-4

プレスの皆様でご参加希望の方は添付にてお申込みください。

※お申込み締切り 9月27日(火)15:00

<本件に関する問い合わせ先>

【奈良県葛城市役所】

担当: 総合政策企画監 本田

Mail: honda-tomoyuki@city.katsuragi.lg.jp

TEL: 0745-69-3001

【株式会社ママスクエア関西支社】

担当:地域開発部 鷲見(わしみ)、相馬(そうま)

Mail: soma@mamasquare.co.jp

TEL: 06-6147-6220